

# 加茂川中学校だより2017



京都市立加茂川中学校  
平成30年3月14日(水)

第13号 祝・卒業

文責：校長 太田勝

## 3年生のみなさん

# 卒業おめでとございます



9年間の義務教育を終えるみなさん、卒業と新たな旅立ち、おめでとうございます。明日の卒業式で中学校生活も最後となります。クラス発表からはじまった最後の1年。4月の修学旅行では人の温かさにも驚かされました。夏の大会が3年生にとって最後の大会。吹奏楽部は金賞も受賞しました。夏休みが明けてシンクロ・紫風祭・合唱コンクールと、大きな行事の一つひとつが、中学校生活最後の行事となっていきました。そんな行事への取組と共に、みなさんはいつも授業を大切にしていた。みんなで食べる食事もあとわずかとなった頃、スピーカーからは思い出の合唱曲が聞こえてきました。そして「送る会」では全校生徒に見送られ、いよいよ最後の卒業式を迎えます。



明日みなさんに手渡す卒業証書が、未来への切符となるよう期待しています。「未来」とは「今を生きる」ことです。悩んだり、喜んだり、行き詰まったり、乗り越えたりしながら今を生きること・今を楽しむことが未来への切符となります。「こういうふうにしたら」幸せになるとか、「こうしないと」ダメだとかいう決まったものはありません。自分自身の中にあるすばらしい力を信じて進んでくれることを期待しています。進む道はみんなにしか見えないのだから・・・。

### 卒業生の保護者の皆様へ

お子様のご卒業、本当におめでとうございます。ここまで大きく育てられ、義務教育を無事終わられたことに敬意を表します。

義務教育の期間は人の一生でも最も大切だと言われています。手をつないで一緒に歩いた幼い頃、いつもぎゅっと握りしめていないと不安そうだった子どももいつしか手をつながずとも歩くようになり、中学校に入学する頃には親の手を離れていく寂しさや頼もしさを感じられたこともあったのではないのでしょうか。子どもが大きくなるにつれ、「目や手は離しても心は離さず」という心がけが親には必要で、それこそが子どもに「自立・自律」につながると思います。

まだまだ子育て真っ最中の皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

これまで本校教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

教職員一同



## 1. 2年生のみなさん



# 振り返りと、来年度への準備を！



まもなく1年が終わります。学年でもクラスでも、そして一人ひとりの個人としても、この1年はどうでしたか？自分自身の変化や成長は感じられましたか？とにかく、たくさん思いつくことが大事だと思います。「何も思い浮かばない。何も変化がない。」というのがいちばん心配です。もちろん変化というのは良いものばかりではありません。「小学校の頃はできていたのに」とか、「ダメなことは分かっていたのに」という変化もあるかもしれません。それでもそうして自分を客観的に見るができるようになることが大人への成長（自立・自律）につながっていきます。3年生が卒業した後は、この学校は君たちが中心となります。新しく入ってくる新入生にとって「あこがれ」の存在となってくれることを期待しています。



### 1組 冬の校外学習

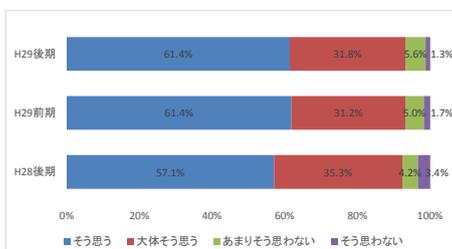
1組は2/15(木)～16(金)の一泊二日で冬の校外学習に参加しました。連日の晴天で雪が積もってるか心配でしたが雪遊び出来る量はしっかり積もっていました。夜のレクリエーションやそり遊びなど、冬の花背を満喫しました。



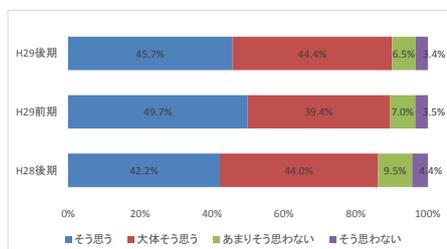
## 学校評価(後期)

加茂川中学校のホームページには、すべてのアンケート項目の結果(生徒・保護者の後期分)を掲載しています。

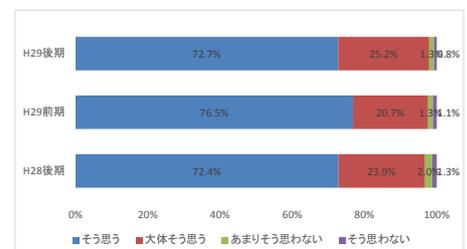
### 自分は楽しく学校に通っている



### 自分のことを自分で大切にできていると思う

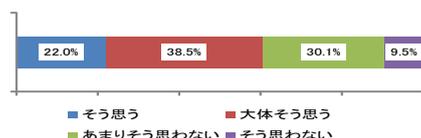


### 他者への思いやりの心を持つことは、とても大切だと思う。



1月に実施しました「学校評価(後期)」についてはすでにホームページにも掲載していますが、3月6日(火)には学校運営協議会のみなさんにもお集まりいただき、様々なご意見を頂戴しました。例年「後期学校評価」の生徒アンケートでは大きな行事が終わり、3年生は受験を迎える時期とも重なるため、肯定的な評価のポイントが下がる傾向がありました。今年度も前期との比較ではやや肯定的回答の減少がみられますが、28年度後期との比較ではほとんどの質問で今年度は肯定的回答が増加していました。学校運営協議会のみなさんからは、特に上記の3項目の肯定的回答が多いことを評価していただきました。

子どもは、家で自主的に学習や読書をしている。



一方で課題として話題となったのは、左にある保護者アンケートの「家での学習・読書」に対する回答でした。学校での「朝読書」の充実はもちろんのこと、クラスごとに朝に図書室へ行かせてはどうか？というご意見や図書室に生徒が読みたい本(新刊)を多く入れてやってほしいというご意見もいただきました。学校としても図書室の開館日を増やす方向で検討しています。さらに読書離れ・活字離れについてはスマートフォンなどの普及に原因があるのではという意見や、家庭での新聞の購読の様子も以前と比べ、変化していることも話題となりました。最後に、子どもが通う学校は常に気になる。これからもぜひ頑張してほしいというご意見もいただきました。学校運営協議会の皆様、1年間ありがとうございました。